

環境調査結果のお知らせ

平成22年11月22日
中央漁業指導所・水産試験場

平成22年11月22日午前9時から、浦ノ内湾の調査をしましたので、結果をお知らせします。

概況

湾内の環境は、水温18～20℃、塩分32～33、溶存酸素濃度6～9mg/lでした。メソディニウム・ルブラムやケイ藻類がやや多く見られ、透明度は3～4mになっていました。また、有害種も僅かに確認されました。

水温と塩分(表1・2)

湾内の水温は18.3～20.2℃、塩分は32.3～33.2でした。前回調査時(H22.11.4)と比較して、水温は2～3℃低下していました。また、降雨の影響で表層の塩分はやや低くなっていました。

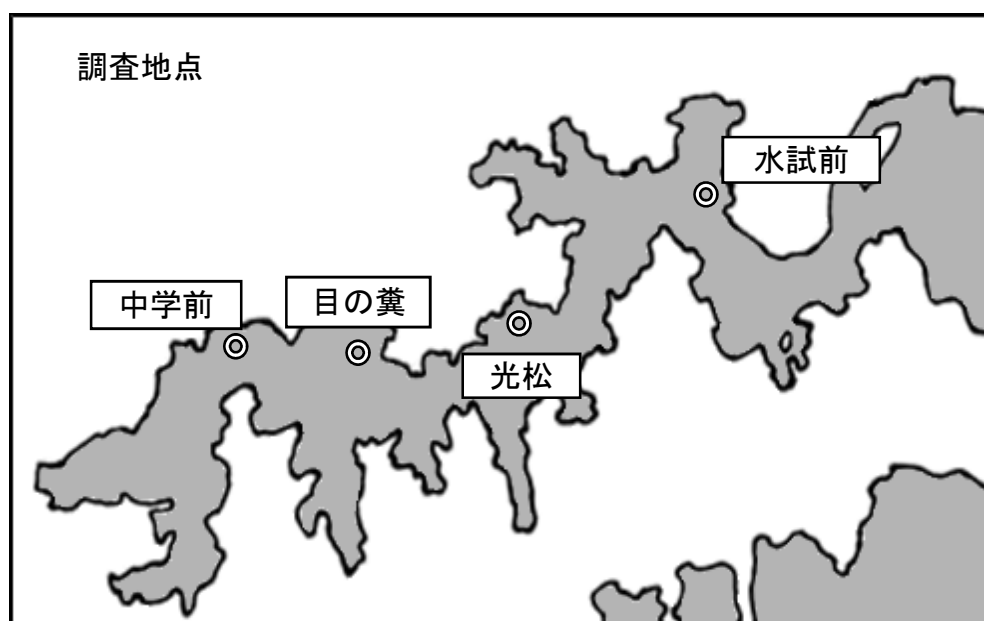
溶存酸素濃度(表3)

湾内の溶存酸素濃度は6.23～9.52mg/lでした。降雨の影響で表層の溶存酸素濃度はやや高くなっていました。

プランクトン(表4・5)

メソディニウム・ルブラムやケイ藻類がやや多く見られ、透明度は3～4mに低下していました。また、有害種のプロロセントラム属及びケラチウム・フルカが僅かに確認されました。

有害種の出現はごく僅かでしたが、海の状態や養殖魚の状態に不安や変化を感じた時は、良く洗ったペットボトルに海水を汲んで、水産試験場か中央漁業指導所まで連絡してください。



環境調査結果表(水温・塩分・プランクトン等)

表1 水温(°C)

調査地点	中学前	目の糞	光松	水試前	漁場平均※	前回調査(H22.11.4)	
						漁場平均	前回との差 今回-前回
0m	18.8	18.3	18.8	20.1	18.6	21.6	▲ 3.1
2m	18.8	19.2	19.5	20.1	19.4	21.9	▲ 2.6
5m	19.0	19.3	19.5	20.2	19.4	22.0	▲ 2.6
10m	19.1	19.4	19.6	-	19.5	22.0	▲ 2.5
B-1m	19.2	19.7	19.9	20.2	19.8	22.1	▲ 2.3

※ 目の糞・光松の平均値

表2 塩分

調査地点	中学前	目の糞	光松	水試前	漁場平均※	前回調査(H22.11.4)	
						漁場平均	前回との差 今回-前回
0m	32.7	32.4	32.3	33.1	32.4	32.6	▲ 0.3
2m	32.7	32.9	32.8	33.1	32.9	32.5	0.3
5m	32.8	32.8	32.9	33.1	32.9	32.5	0.4
10m	32.7	32.9	32.9	-	32.9	32.5	0.4
B-1m	32.8	33.0	33.1	33.2	33.1	32.6	0.5

※ 目の糞・光松の平均値

表3 酸素濃度(mg/l)

調査地点	中学前	目の糞	光松	水試前	漁場平均※	前回調査(H22.11.4)	
						漁場平均	前回との差 今回-前回
0m	9.52	7.83	7.57	6.81	7.70	6.12	1.59
2m	8.88	8.23	7.34	6.78	7.79	5.90	1.89
5m	8.30	7.05	6.79	6.75	6.92	5.86	1.07
10m	7.26	6.44	6.71	-	6.58	5.69	0.89
B-1m	6.91	6.23	6.37	6.90	6.30	5.56	0.75

※ 目の糞・光松の平均値

表4 水深・透明度(m)

調査地点	中学前	目の糞	光松	水試前
水深	12.7	16.4	17.8	10.5
透明度	4.0	3.5	3.2	3.0
前回透明度	5.0	6.0	5.5	5.0

表5 プランクトン(cells/ml)

		プロロセントラム属 (マイカンス・ミニナム)	ケラチウム・ フルカ	メソディニウム・ ルプラム	ジャイロディニウム・ スピラレ	ジャイロディニウム・ ドミナンス
		中学前	0m	0	0	122
	2m	2	2	78	2	2
	5m	0	0	20	10	2
目の糞	0m	0	0	2	2	0
	2m	0	0	2	2	0
	5m	0	0	0	0	0
光松	0m	0	0	6	0	4
	2m	0	0	4	0	0
	5m	0	0	0	0	4
水試前	0m	0	0	2	0	4
	2m	2	0	0	0	0
	5m	0	0	0	0	2